（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「水」を起点とした地域ブランド振興と関係人口創出事業
事業主体 （連絡先）	信濃おおまち　みずのわプロジェクト 大町市大町３８８７番地
事業区分	（８）その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	７，７１３，７６５円（うち支援金：　６，０００，０００円）

事 業 内 容

１．水路網に関するデジタルコンテンツ整備

（１）市全域のデジタル水路網図の作製

令和６年度に作製した“みずの音ナビ（市街地版）”に続き、大町市における水の利活用の特徴である市内全域の水路網をまとめたデジタルマップ“みずの音ナビ”を作製。また、重要施設等について、ドローンで撮影した画像をもとに３Ｄモデルを作製。

（２）市民参加型水路網、水スポット探索

水路や水スポットを探索しながら、市民等がどのような場所や内容に興味を持ったのかを把握するモニターツアー「水みち探訪ミニツアー」を実施。

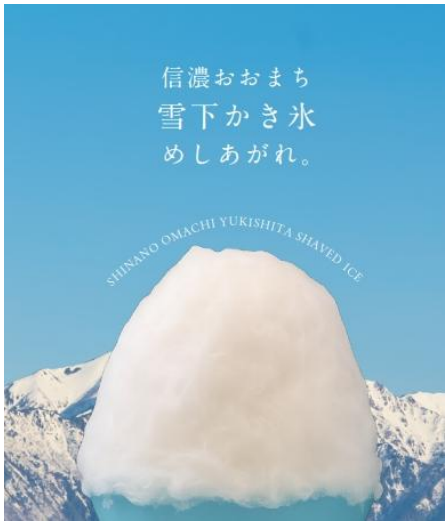
２．水を起点とした食による魅力体験

（１）信濃おおまちオリジナルかき氷レシピ開発

市内飲食店との協働により“掘ると見つかる大町の魅力”をテーマにした「信濃おおまち 雪下かき氷」を展開し、“水×スイーツ”の相乗効果による地域ブランド力の向上に取り組んだ。

（２）食を通じた水の魅力体感ツアー

市民の暮らしを豊かにしている水に焦点をあて、岳から里へと流れる水に育まれた食の体験を提供するツアー「清流 森 農の恵みをめぐるリトリート」を実施。



【信濃おおまち 雪下かき氷】
サントリーとの連携による
水を活かした新たな食の特産品

事 業 効 果

①大町市の水資源の価値や魅力を具体的に表現するコンテンツを整備することができた。
②市民や市内飲食店が参画する事業を構築できたことにより、水を活かしたまちづくりへの関心が高まった。
③将来的な関係人口に繋がるコアな大町ファンやリピーターの獲得に資する裾野の拡大が図られた。

【目標・ねらい】

①大町市の水の魅力の見える化
②シビックプライドの醸成
③水を起点とした地域ブランド振興と関係人口の創出

※自己評価【　Ｂ　】

【理由】
水を起点とした多面的かつ重層的な事業展開により、関係人口の創出に向けた環境整備が図られた。

今後の取り組み

３年間の元気づくり支援金による助成を受けて、ステークホルダーとの連携を深め、市民や市内事業者が参画する事業展開の骨格を構築できた。引き続き、水を起点として地域全体の価値を高めるため、市民の多くが当たり前に思っている、大町の水の魅力や価値を見つめ直すきっかけを様々に提供するとともに、今年度の事業で得たアンケート結果を活かしながら、「水が生まれる信濃おおまち」としての地域ブランドの向上と関係人口の創出・拡大に向けた取組を推進する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある